

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【公開番号】特開2007-328699(P2007-328699A)
 【公開日】平成19年12月20日(2007.12.20)
 【年通号数】公開・登録公報2007-049
 【出願番号】特願2006-161096(P2006-161096)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

G 0 6 F 17/30 1 7 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のユーザの端末と通信ネットワークを介して接続され前記ユーザのユーザ ID に関連付けて記憶されているキャラクタデータを検索するサーバであって、

前記キャラクタデータの一部を構成するアイテムデータの ID と前記ユーザ ID を関連付けて記憶されたアバターテーブルをアバター DB から読み出すアバターテーブル読出し部と、

前記複数のユーザ間で共通に使用されるアイテムデータの ID を前記アバターテーブルから抽出することで前記複数のユーザ間のキャラクタデータの類似度を計算する類似度計算部と、

前記類似度を前記複数のユーザ間のキャラクタデータの類似度を表す類似度テーブルに保存する類似度テーブル作成部と、

前記類似度が所定の閾値以上かどうかを判定する類似度判定部と、

前記判定に応じて検索結果としてキャラクタデータを送信する類似ユーザ送信部と、
 を備えることを特徴とするサーバ。

【請求項 2】

前記類似度計算部は、前記アイテムデータの分類によって定義される重み付けを加えることを更に含む請求項 1 に記載のサーバ。

【請求項 3】

前記類似度計算部は、前記キャラクタデータの生成時のタイムスタンプデータによって重み付けを加えることを更に含む請求項 1 または請求項 2 のいずれかに記載のサーバ。

【請求項 4】

前記類似度計算部は、ユーザ間で共通して使用するアイテム数に加え、アイテム間の親和度を更に加えることを含む請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載のサーバ。

【請求項 5】

前記所定の閾値は、ユーザ数とアイテム数とに基づいて計算される請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載のサーバ。

【請求項 6】

複数のユーザの端末と通信ネットワークを介して接続されたサーバが、前記ユーザのユ

ーザ I D に関連付けて記憶されているキャラクタデータを検索する方法であって、

前記サーバは、

前記キャラクタデータの一部を構成するアイテムデータの I D と前記ユーザ I D を関連付けて記憶されたアバターテーブルをアバター D B から読み出すステップと、

前記複数のユーザ間で共通に使用されるアイテムデータの I D を前記アバターテーブルから抽出することで前記複数のユーザ間のキャラクタデータの類似度を計算するステップと、

前記類似度を前記複数のユーザ間のキャラクタデータの類似度を表す類似度テーブルに保存するステップと、

前記類似度が所定の閾値以上かどうかを判定するステップと、

前記判定に応じて検索結果としてキャラクタデータを送信するステップと、

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 7】

複数のユーザの端末と通信ネットワークを介して接続されたサーバに、前記ユーザのユーザ I D に関連付けて記憶されているキャラクタデータを検索させるプログラムであって、

前記サーバに、

前記キャラクタデータの一部を構成するアイテムデータの I D と前記ユーザ I D を関連付けて記憶されたアバターテーブルをアバター D B から読み出すステップと、

前記複数のユーザ間で共通に使用されるアイテムデータの I D を前記アバターテーブルから抽出することで前記複数のユーザ間のキャラクタデータの類似度を計算するステップと、

前記類似度を前記複数のユーザ間のキャラクタデータの類似度を表す類似度テーブルに保存するステップと、

前記類似度が所定の閾値以上かどうかを判定するステップと、

前記判定に応じて検索結果としてキャラクタデータを送信するステップと、

を実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

(1) 複数のユーザの端末と通信ネットワークを介して接続され前記ユーザのユーザ I D に関連付けて記憶されているキャラクタデータを検索するサーバであって、

前記キャラクタデータの一部を構成するアイテムデータの I D と前記ユーザ I D を関連付けて記憶されたアバターテーブルをアバター D B から読み出すアバターテーブル読出し部と、

前記複数のユーザ間で共通に使用されるアイテムデータの I D を前記アバターテーブルから抽出することで前記複数のユーザ間のキャラクタデータの類似度を計算する類似度計算部と、

前記類似度を前記複数のユーザ間のキャラクタデータの類似度を表す類似度テーブルに保存する類似度テーブル作成部と、

前記類似度が所定の閾値以上かどうかを判定する類似度判定部と、

前記判定に応じて検索結果としてキャラクタデータを送信する類似ユーザ送信部と、

を備えることを特徴とするサーバ。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

(2) 前記類似度計算部は、前記アイテムデータの分類によって定義される重み付けを加えることを更に備える(1)に記載のサーバ。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

このような構成によれば、アイテムデータをその種類によって分類し、その分類毎に定義された重みデータを加味して、(2)の類似度計算部における類似度計算の精度をより高めることが可能である。例えば、アイテムデータが「顔」、「髪型」、「服装」、「履物」、「背景」というように分類されている場合、「顔」と「服装」について他の分類に比べてより類似度を計算する際の重みが高いとすることができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

(3) 前記類似度計算部は、前記キャラクタデータの生成時のタイムスタンプデータによって重み付けを加えることを更に備える(1)または(2)のいずれかに記載のサーバ。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

このような構成によれば、(1)または(2)の類似度計算部は、更に、ユーザがキャラクタを作成した時のタイムスタンプデータを記憶しておき、そのタイムスタンプデータによって類似度の重み付けをすることができる。例えば、より最近作成されたキャラクタほど類似度に対する重みが高いと判断したり、ユーザ間でキャラクタの作成時期が近い場合により類似度が高いといった判断材料とすることができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

(4) 前記類似度計算部は、ユーザ間で共通して使用するアイテム数に加え、アイテム間の親和度を更に加えることを備える(1)～(3)のいずれかに記載のサーバ。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

(5) 前記所定の閾値は、ユーザ数とアイテム数とに基づいて計算される(1)～(

4) のいずれかに記載のサーバ。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

このような構成によれば、(1)～(4)の類似度計算部によって計算された類似度を用いて最終的に類似ユーザとして判定するための所定の閾値を可変にすることができる。例えば、ユーザ数とアイテム数が多くなればなるほど閾値を高くし、より類似度の高いユーザを検索しやすくすることができる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

(6) 複数のユーザの端末と通信ネットワークを介して接続されたサーバが、前記ユーザのユーザIDに関連付けて記憶されているキャラクタデータを検索する方法であって、

前記サーバは、

前記キャラクタデータの一部を構成するアイテムデータのIDと前記ユーザIDに関連付けて記憶されたアバターテーブルをアバターDBから読み出すステップと、

前記複数のユーザ間で共通に使用されるアイテムデータのIDを前記アバターテーブルから抽出することで前記複数のユーザ間のキャラクタデータの類似度を計算するステップと、

前記類似度を前記複数のユーザ間のキャラクタデータの類似度を表す類似度テーブルに保存するステップと、

前記類似度が所定の閾値以上かどうかを判定するステップと、

前記判定に応じて検索結果としてキャラクタデータを送信するステップと、

を含むことを特徴とする方法。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

(7) 複数のユーザの端末と通信ネットワークを介して接続されたサーバに、前記ユーザのユーザIDに関連付けて記憶されているキャラクタデータを検索させるプログラムであって、

前記サーバに、

前記キャラクタデータの一部を構成するアイテムデータのIDと前記ユーザIDに関連付けて記憶されたアバターテーブルをアバターDBから読み出すステップと、

前記複数のユーザ間で共通に使用されるアイテムデータのIDを前記アバターテーブルから抽出することで前記複数のユーザ間のキャラクタデータの類似度を計算するステップと、

前記類似度を前記複数のユーザ間のキャラクタデータの類似度を表す類似度テーブルに保存するステップと、

前記類似度が所定の閾値以上かどうかを判定するステップと、

前記判定に応じて検索結果としてキャラクタデータを送信するステップと、

を実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３６】

このような構成によれば、（１）のサーバまたは（６）の方法を機能させ、同様な作用効果を奏するコンピュータ・プログラムを提供することができる。